

5. 広聴活動について

(1) 広聴について

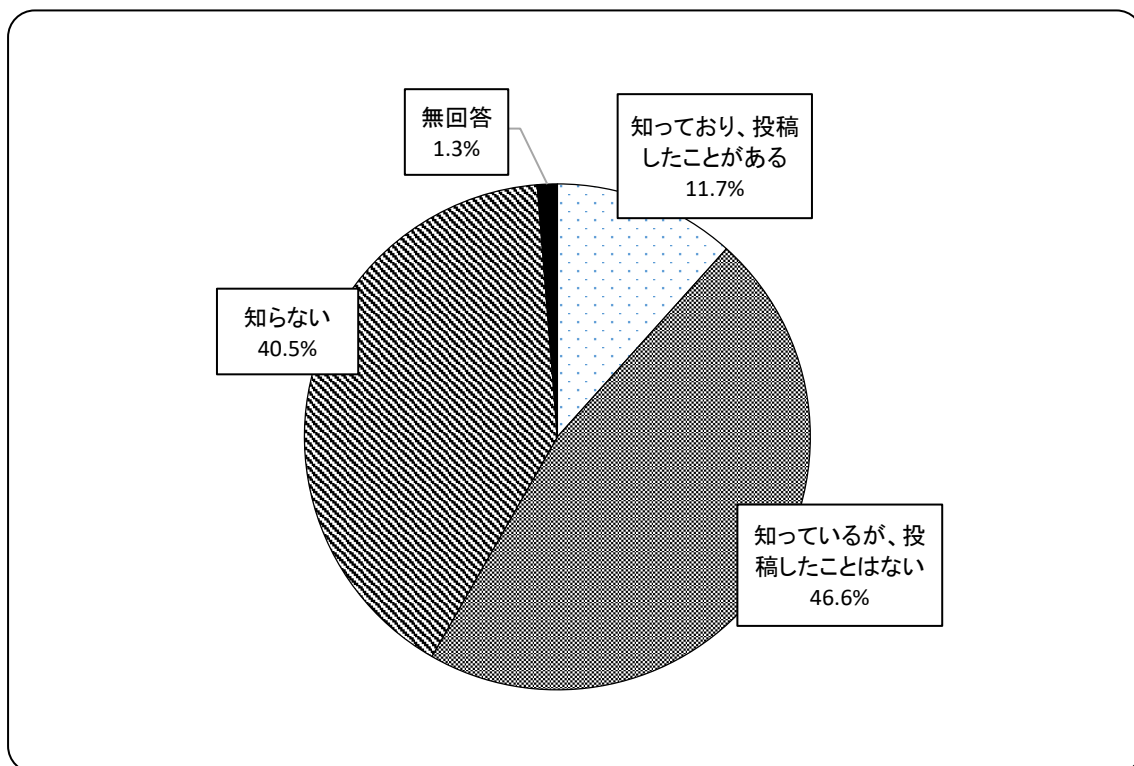
《市政への提案箱の認知度》

問 82. 本市では、市政に関する建設的な提案などを募集するために、「市政への提案箱」専用ポストの市施設等への設置や、市ホームページに投稿フォームを設けておりますが、知っていますか。

【選択は1つ】

「知らない」と回答した方が 40.5%と、昨年度の 47.4%と比べて減少していることから、認知度の向上が見てとれる。引き続き、専用ポストや市ホームページで意見を募集していることについての周知を広報紙等を活用し、行っていく。

	選択項目 (N=472)	回答数	構成比
1	知っており、投稿したことがある	55	11.7%
2	知っているが、投稿したことはない	220	46.6%
3	知らない	191	40.5%
	無回答	6	1.3%
	計 (回答総数)	472	100.0%



《パブリックコメント制度の認知度》

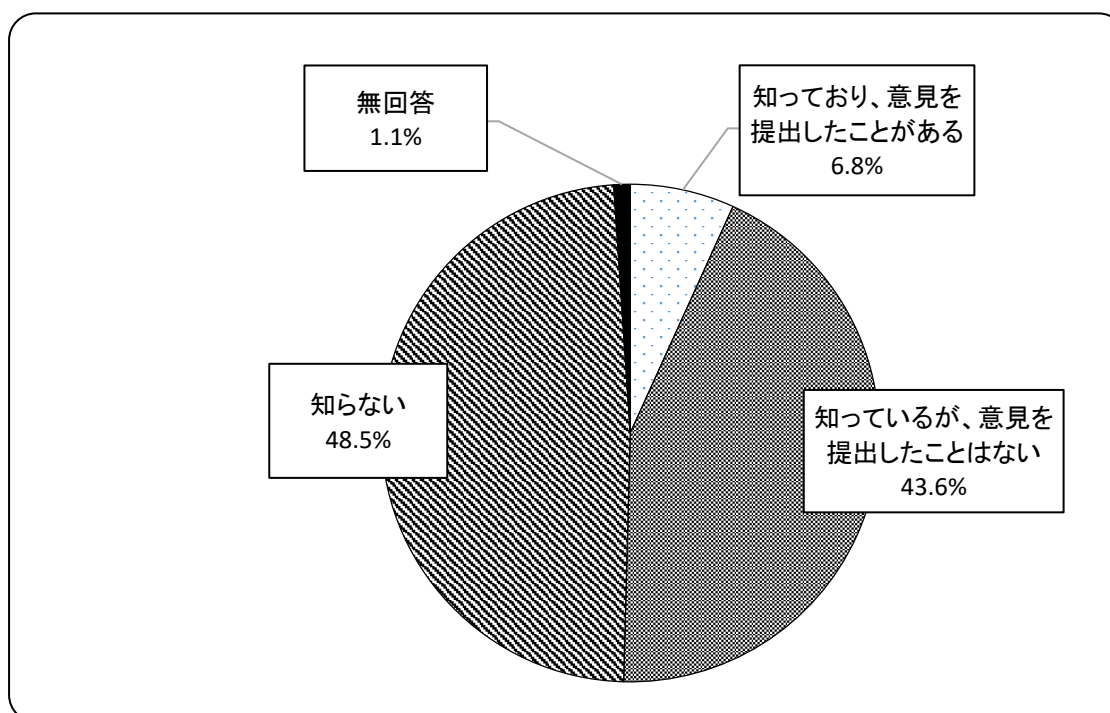
問 83. パブリックコメント制度（意見募集制度）※を知っていますか。

【選択は1つ】

「知らない」と回答した方が 48.5%と、昨年度の 47.0%と同様、未だ約半数の方に認知されていない現状があるため、引き続き広報紙や市ホームページでパブリックコメント制度についての周知を行う必要がある。

	選択項目 (N=472)	回答数	構成比
1	知っており、意見を提出したことがある	32	6.8%
2	知っているが、意見を提出したことはない	206	43.6%
3	知らない	229	48.5%
	無回答	5	1.1%
	計 (回答総数)	472	100.0%

※パブリックコメント制度とは、生活に広く影響を及ぼす市政の基本的な計画、条例等を立案する過程で、これらの案の趣旨、内容等を市民の皆様等に公表し、寄せられた意見を考慮して最終決定するための一連の手続のことです。



《パブリックコメント制度で意見を提出しない理由》

問 84. 問 83 で「2 知っているが、意見を提出したことはない」と回答された方に伺います。
パブリックコメント制度を利用して意見を提出したことがないのはなぜですか。

【複数回答可：いくつでも】

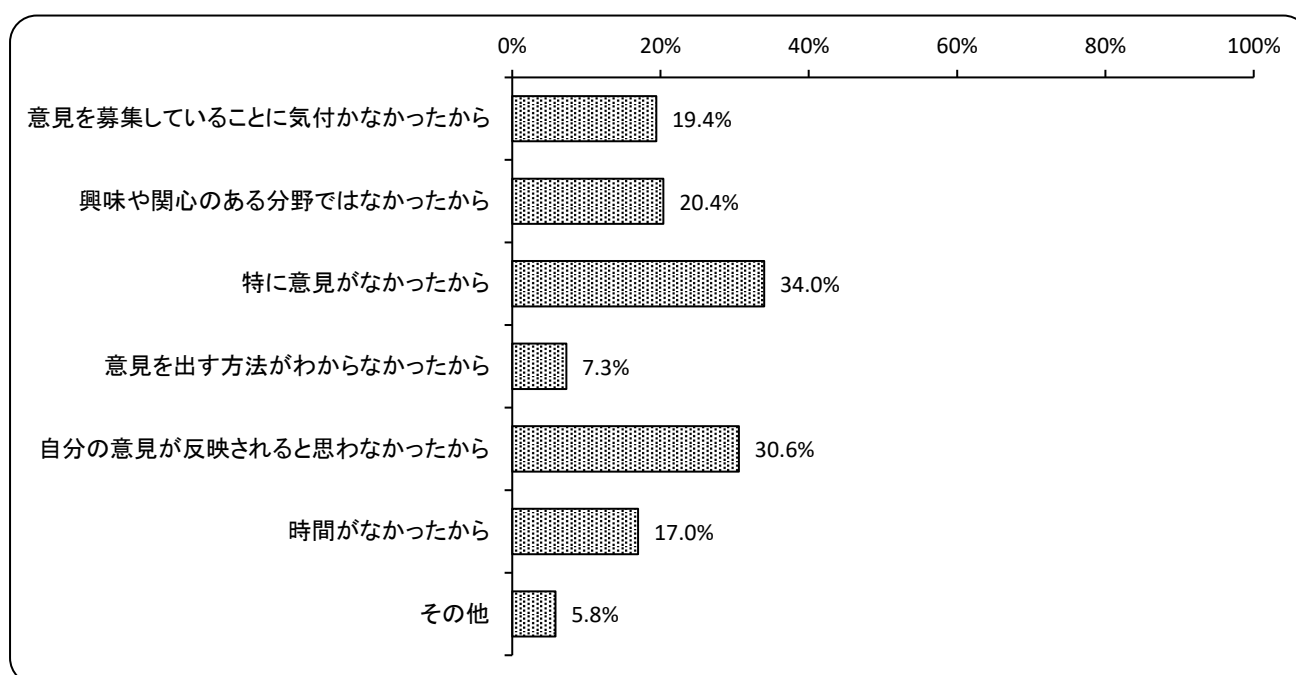
「意見を募集していることに気付かなかったから」が 19.4%と、約 2 割の方がそもそもパブリックコメントの実施について知らなかったという結果が出ているため、意見募集の広報における方法や媒体について、検討を行う必要がある。

	選択項目 (N=206)	回答数	構成比
1	意見を募集していることに気付かなかったから	40	19.4%
2	興味や関心のある分野ではなかったから	42	20.4%
3	特に意見がなかったから	70	34.0%
4	意見を出す方法がわからなかったから	15	7.3%
5	自分の意見が反映されると思わなかったから	63	30.6%
6	時間がなかったから	35	17.0%
7	その他	12	5.8%
	計 (回答総数)	277	134.5%

[7 その他]

【主な回答】

- 内容が専門的で難しく、よくわからないから
- 意見を提出しても、双方向の意見交換ができないし、実際の施策に反映されるとは思えないから
- 意見を提出しようとしても、明確な情報や根拠を持っていないことや、意見提出により偏った思考の持ち主と思われるからだ感じるため、気が引けてしまうから



(2) 「市民の声」の公表について

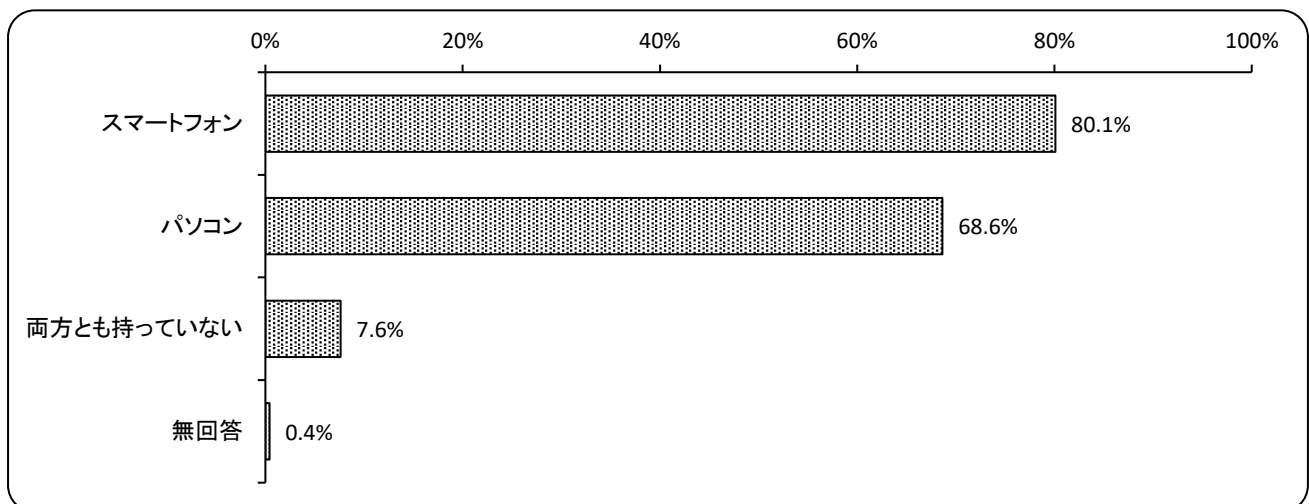
《堺市の情報を見るツール》

問 85. 堺市の情報を見るツールとして、スマートフォンやパソコンをお持ちですか。

【複数回答可：いくつでも】

約8割の方が、スマートフォンを持っている。

	選択項目 (N=472)	回答数	構成比
1	スマートフォン	378	80.1%
2	パソコン	324	68.6%
3	両方とも持っていない	36	7.6%
	無回答	2	0.4%
	計 (回答総数)	740	156.8%



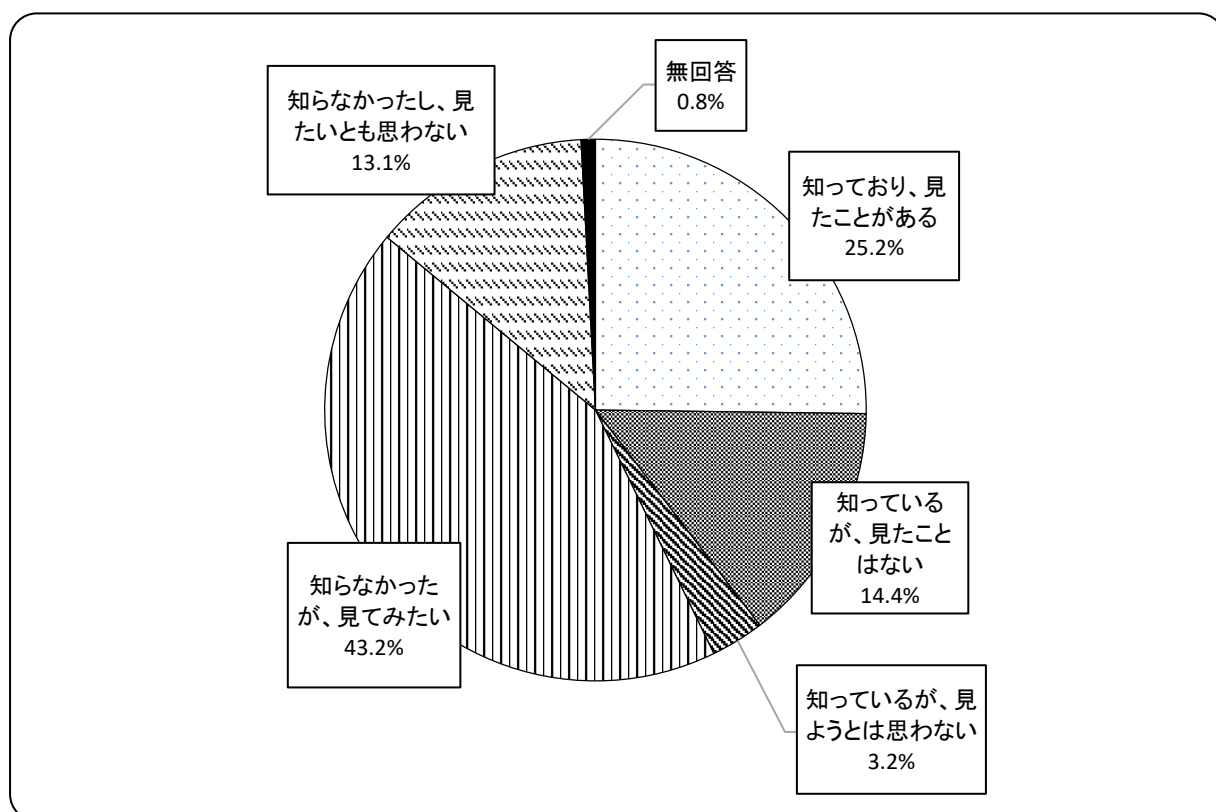
≪「市民の声 Q&A」の認知度≫

問 86. 「堺市ホームページ」に市民のみなさんから寄せられた提案・意見とそれに対する市の考え方が「市民の声 Q&A」として掲載されていることをご存じですか。 【選択は1つ】

「知っており、見たことがある」(25.2%)と「知っているが、見たことはない」(14.4%)、「知っているが、見ようとは思わない」(3.2%)を合わせて約4割(42.8%)の方が市ホームページへの掲載を知っている。

うち、「知っており、見たことがある」方の割合は昨年度調査時(20.7%)から4.5%増加している。

	選択項目 (N=472)	回答数	構成比
1	知っており、見たことがある	119	25.2%
2	知っているが、見たことはない	68	14.4%
3	知っているが、見ようとは思わない	15	3.2%
4	知らなかったが、見てみたい	204	43.2%
5	知らなかったし、見たいとも思わない	62	13.1%
	無回答	4	0.8%
	計 (回答総数)	472	100.0%



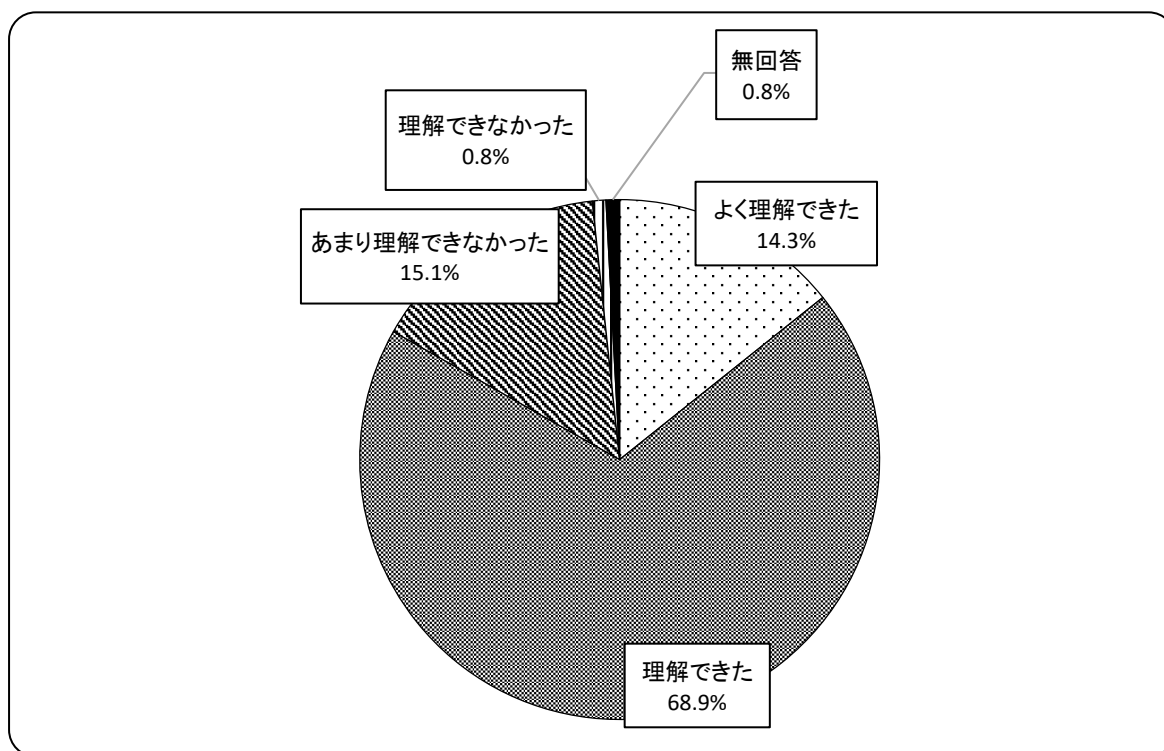
◀ 「市民の声 Q&A」 の理解度 ▶

問 87. 問 86 で「1 知っており、見たことがある」と回答された方に伺います。

「市民の声 Q&A」をご覧になって、市の考え方を理解できましたか。 【選択は1つ】

「よく理解できた」(14.3%)と「理解できた」(68.9%)を合わせて83.2%の方が市の考え方を理解いただいている。

	選択項目 (N=119)	回答数	構成比
1	よく理解できた	17	14.3%
2	理解できた	82	68.9%
3	あまり理解できなかった	18	15.1%
4	理解できなかった	1	0.8%
5	無回答	1	0.8%
	計 (回答総数)	119	100.0%



《広聴活動に対する新たなアイデア》

問 88. 今後の広聴活動の充実のために、市民の声をお聴きする新しい手法やアイデア等がありましたら、ご自由にお書きください。 【自由記述】

【アンケート】

- 市政モニターアンケートのボリュームを少なくして、簡単なものにしてほしい。
- 市政モニターアンケートは毎年ほぼ同じ内容の質問で無駄ではないか。
- 高齢者へは書面でのアンケートがを実施してほしい。
- 無作為抽出によるアンケートの実施。
- 堺市にゆかりのあるアーティストを呼び、ライブ会場でアンケートを実施。
- 確定申告など市民が多く集まる場所で、アンケートを実施する。
- 子育てサークル等で、アンケートを実施する。
- 市役所やスーパーマーケットなどでアンケート調査。

【自治会】

- 自治会の回覧版を活用する。
- 自治会単位で年に数回、その声を聞く機会を作る。
- 自治会長を集めるなどして要望を聞くのはどうか。
- 自治会活動を通じて、困っていることや提案などを市に伝える。
- 自治会の掲示板に市政への提案箱の案内を掲示する。

【市政への提案箱等】

- 「市政への提案箱」を目立つような場所に置く。
- 「市民の声」について、直接電話でクレーム・提案できる部署があれば良い。
- 「市民の声」専用の電話番号や、メールアドレスを用意する。
- スーパーや駅などに投書箱を設置する。
- 市政への提案箱の名前を、「目安箱」などに変更する。
- 「市政への提案箱」を区役所の分かりやすい場所に設置する。
- 「市政への提案箱」の2次元コードを記載した、ポスターを作成する。
- 「市政への提案箱」の設置個所を増やす。
- 市内のイベント会場に、「市政への提案箱」を設置する。
- 病院に「市政への提案箱」を設置する。
- 郵便局に「市政への提案箱」を設置する。
- 大型ショッピング施設やスーパー、小売店等に「市政への提案箱」を設置する。
- 保育園「市政への提案箱」を設置する。

【広報さかい】

- 広報さかいに「市民の声 Q&A」を掲載する。
- 広報さかいに「シニアご意見・提案ボックス（仮称）」等を掲載する。
- 広報さかいに、要望や提案を自由に記入できる用紙及び郵送封筒を折込む。

【インターネット】

- LINE を活用し、気軽に「市民の声」を投稿できるようにする。
- 様々な SNS を活用し、幅広い世代からの意見を募る。
- ZOOM を活用し、オンラインで意見を伝える場を作る。
- Facebook や Instagram、Twitter を利用し、アンケートを行う。
- 市長の Twitter に、広聴のページのリンクを貼付する。
- YouTube やライブ配信サービスで、生配信でのアンケートを実施する。
- 「市民の声」に特化したスマートフォンのアプリを作成する。
- 「市民の声」に関するメールマガジンを配信する。

【公共施設】

- 市内の駅に、「市民の声」を掲載する。
- 市内の駅に、モニターを設置し、「市民の声」を表示する。
- 市内の公共施設に、ポスターを掲示する。
- 市内の駅や公共施設で、チラシを配布する。

【ホームページ】

- スマホ版ホームページから、すぐに「市民の声」を投稿できるようにする。
- 各課へのお問い合わせフォームを、もっとわかりやすくする。
- ホームページ上の「市政への提案箱」を目立つように工夫する。

【教育機関】

- 学校でポスターやチラシの配布を行う。
- 学校でイベントを開催して、市政への提案を募集する。
- 学校を通じて、保護者にアンケートを取る。
- 児童や生徒にアンケートを配布し、学校生活についての問題点や思いを書いてもらう。

【報酬】

- 「市政への提案箱」に意見を提出すると、プレゼントやクーポン券がもらえるようにする。
- 「市政への提案箱」に意見を提出すると、税金が安くなるなど、特典をつける。

【その他】

- 直接、家庭訪問をして、意見を募る。
- 各家庭に提案用紙を配布する。
- 新聞で広報する。
- ホワイトボードなどに直接書きこめるようにする。
- 堺市の冊子に広聴活動の宣伝を入れる。
- マスコットキャラクターなどを作り、意見を募集すると良いと思う。
- 市長や市議員と市民が、意見交換をできる場を作る。
- 期間を区切り、集中的にアイデアを募る。

令和2年度 第2回 市政モニターアンケート報告書

1. 大阪 880 万人訓練について
2. 墓地について
3. 上下水道局の取組について
4. スポーツ活動・運動習慣について
5. 広聴活動について

発行年月 令和3年4月

編集・発行 堺市市長公室広報戦略部市政情報課

〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号

TEL 072-228-7475

FAX 072-228-7444

URL <https://www.city.sakai.lg.jp/>

配架資料番号 1-C3-20-319